

館山市街地循環バス「かいまーる」の運賃改定（案）について

1. 改定理由

持続可能な公共交通サービスを提供していくため、人件費や燃料費等の高騰に伴う運行経費の上昇に合わせた運賃設定や、キャッシュレス決済の浸透に伴う割引の廃止を行い、将来にわたって持続可能な公共交通サービスの提供を目的とした運賃の改定を実施したいと考えています。

2. 運賃改定の必要性

市街地の回遊性向上を図るため、令和5年6月より市街地循環バスの本格運行を開始しましたが、令和6年度に実施した「事業仕分け」では、評価者から運行内容の改善とともに、赤字額の減額を図るよう意見がありました。

これまで、ノンステップEVバスの導入による乗降性の向上や、無料乗車券の配布による利用促進、広報紙による周知など行ってきましたが、令和7年度の収支率は7%程度となる見込みで、収支欠損については、国庫補助金や市（利用していない市民を含めた市民の税金）が負担している状況です。令和8年度以降の運行についても、不足する運転手の確保に伴う費用や燃料費の高騰など、車両代を除く運行経費の上昇（約21%）が見込まれ、運賃改定を行わない場合、収支欠損額が増加することが予想されます。

今後も継続して運行するにあたり、「渚の駅」たてやま」を経由する便の設定や、一方向の運行であったものの一部を逆方向の運行にするなど、運行方法の見直しによる利用者数の増加を図るとともに、料金改定を行い、収支率の改善を図っていきたいと考えています。

3. 運賃改定（案）

運賃項目	現状（キャッシュレス）	改定（案）（キャッシュレス）
大人	200 円（160 円）	250 円（250 円）
小学生	100 円（100 円）	130 円（130 円）
未就学児	0 円（0 円）	0 円（0 円）
障害者・ノーカーサポート優待所持者	100 円（100 円）	130 円（130 円）
1 か月乗り放題パス	2,000 円（1,600 円）	4,000 円（4,000 円）

【変更点】

- ・大人1人当たりの運賃を250円とする。
- ・キャッシュレス決済割引を廃止し、現金運賃と同額とする。
- ・1か月乗り放題パスの料金を4,000円とする。（約40%割引）

【変更がない点】

- ・全区間「均一運賃制」。
- ・障害者手帳所持者、ノーカーサポート所持者、小学生は、大人運賃の半額とし、10円未満の額は切り上げ。
- ・未就学児は無料。

4. 運賃改定日

令和8年4月1日

【参考】

＜運行方法の見直し＞

- ・ 1日6便を継続し、新規に「“渚の駅” たてやま」を経由する便を設定する。
- ・ 一方向のみの運行から、逆回りの便を設定する。
- ・ 館山駅での接続を考慮したダイヤに見直し。

＜市負担額の状況＞

内容	運賃	運行経費 (車両代含む)	運賃収入	国庫補助金	市負担額※	収支率
令和5年度	200円	14,802,000円	1,328,000円	738,000円	12,736,000円	8.97%
令和6年度	200円	28,857,000円	1,748,000円	2,932,000円	24,177,000円	6.06%
令和7年度 (見込)	200円	27,709,000円	1,859,000円	2,214,000円	23,636,000円	6.71%
令和8年度 (見込)	200円	30,083,000円	1,899,000円	2,932,000円	25,252,000円	6.31%
	250円	30,083,000円	2,250,000円	2,932,000円	24,901,000円	7.48%

＜運賃改定後の利用者負担＞

	運賃	月額(26日想定)	1か月負担増	1年間負担増
1回/日利用	250円	6,500円	1,300円	15,600円
2回/日利用	250円	13,000円	2,600円	31,200円
3回/日利用	250円	19,500円	3,900円	46,800円
4回/日利用	250円	26,000円	5,200円	62,400円

※「1か月乗り放題パス」を4,000円で販売し、利用頻度の高い方の負担軽減を図る。